

令和6年度使用前期課程用 教科用図書採択理由

教科 発行者 採択教科書	採択の理由（内容，資料，表記・表現など）
国語 光村図書 「国語」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元導入時に，文章に対する児童自身の「問い」を見出す学習活動が位置づいており，その「問い」をもとに課題を持ち，主体的に学習が進んでいくような構成になっている。本校で大事にしている「問題解決力」を醸成することにつながると考える。 ・ 「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点に即した問題や学習活動の例が提示されている。 ・ 「学校のために」や「地域のために」というような，「貢献する人間性」を育むことにつながる言語活動例が多く位置付けられている。 ・ QRコンテンツの数自体は少ないが，「問いをもつための動画」や，「活動の実写動画」に説明があえて少ないことなど，児童が主体的に協働的な学びに自然と向かえるような工夫がなされている。 ・ 学びの流れが一目でわかるページが位置づいていたり，単元ごとに身に付けたい力が明確に示されていたりして，児童も教師も見通しをもって学習活動に取り組むことができる。 ・ 高学年は中学校への接続を意識した学年1冊編成が望ましい。
書写 光村図書 「書写」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き右ページの課題をつかむ場面が，よい手本とよくない手本を比較できるような構成になっており，自分たちで課題を見出して主体的に取り組みやすくなっている。 ・ 光村国語教科書と同様の形式で，題字ごとの身に付けたい力が「たいせつ」で示されており，見通しをもって学習に取り組むことができる。 ・ 毛筆の手本数が一番豊富である。多様な課題に取り組むことができる。 ・ QRコンテンツが豊富である。題字ごとの手本の動画だけでなく，学年に応じた他教科・他領域の学びにつながるような映像資料も豊富に準備されている。 ・ 国語教科書との教材の関連が強いため，国語と同様の出版社のものが望ましい。

<p>社会 東京書籍 「新編 新しい社会」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった流れが教科書に大きく明示され、視覚的に児童が単元の学習をどのように進めていけばいいのを見通しをもち、主体的にそして効果的に問題解決的な学習を進められるようになっている。この点において、様々なことに興味・関心をもっている本校の児童が用いる上で相応しいものであると考える。 ・「どう生きるか」との関連で、『問題解決力』に関わっては、全ての単元に、めあて、小単元の学習問題、本時のめあてを明示し、問題解決的な学習を効果的に進められるようにしているとともに、「つかむ」の場面で、見通しをもって問題解決的な学習に取り組めるよう、「学習計画を立てる」場面が重視されている。これは「問い」を立てることを重視している本校の社会科の研究にも親和性がある。「関係構築力」に関わっては、「まとめる」の場面で、単元で学習してきたことをもとに仲間同士で話し合う活動が位置付けられ、話し合いの方法が例示してあることで、よりよい方策・社会のあり方を創造することができると思う。「貢献する人間性」に関わっては、「生かす」の場面で、今日的な課題に関わることを中心に、単元で学習してきたことを生かして、社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面が位置付けられているので、相応しいと考える。 ・「まなびのポイント」の随所に「～について話し合おう」という文言が多く掲載され、社会的事象に関する自他との対話を通して、多様な価値観に触れることで、『既存の社会のあり方等を見直すことも含め、社会的事象について、互いの考えを伝え合い、聞き合い、尊重し合うことを通して、自らが生きる社会のより良い在り方を考え、参画していこうとする自律的な児童生徒』という本校社会科部会の目指す児童像に近づくことができると思う。 ・6年生の社会科で中学校の歴史学習を先行実施しているが、6年生の教科書にある「ことば」によって後期課程の学習を補完することができる。 ・唯一、単元の内容と他教科・領域の内容が関連して示されており、児童が幅広く学習を行うことが可能となっている。
<p>社会（地図帳） 帝国書院 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本地図帳は、ページ数（132ページ）が多く、内容が充実している。 ・日本では、地方ごとに100万分の1→50万分の1の地図の順になっており、比べながら見られるようになっている。さらに、100万分の1のページに「くわしく見る地図○○ページ」とページ数も指定してあり、分かりやすくなっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの多様な「問いかけ」によって、「地図マスターへの道」の学習活動が進み、地図の見方を深められるようになっている。 ・自然、災害と防災、産業、貿易など幅広いテーマの資料図、統計を 20 ページにわたって掲載しており、これらを比較・関連させて考察することで、後期課程の学習にもつながる地理的な見方・考え方を育むことができる。また、こうした点は様々な資料を自分から求め、比べたりつなげたりなど見方・考え方を働かせながら学ぶ附属小中学校の実態に合っており、より主体的に学ぶ学習につながる。 ・スムーズに地図帳を使えるよう、「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」が 14 ページにわたって段階的かつ丁寧に記されているので、義務教育学校の特徴を生かして、前後期課程の教師でそれを共有し、7 年間の学びの中で継続的に指導をすることができる。 ・「どう生きるか」の実践で活用する時に、自然、災害と防災、産業、貿易、歴史など幅広いテーマの資料図、統計を 20 ページにわたって掲載しているため、より深く探究学習を進めることができる。 ・二次元コードの数（計 49）が多く、「地図クイズ」や「動画・音声コンテンツ」、「デジタル地図・図表」など、楽しみながら主体的に学習に取り組むことができる。
<p>算数 大日本図書 「新版 たのしい算数」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等に重点を置いて指導をしたり、研究を推進したりしている。筋道を立てて考えるとき、特に前期課程の児童にとって、根拠となることは図である。その図は、系統性があった方がよい。発達の段階に応じて「テープ図と数直線」「数直線と数直線」に絞られ、それが系統的に指導することができる教科書である。 ・算数は内容の系統性が強く、学習の連続性が明確であるという教科書の特徴がある。既習内容を根拠にするとき、教科書が分冊ではなく、1冊にまとまっていると、子どもが自分で振り返ることができる。1冊にまとまっている分、分冊の合計の重さより、軽くなっている。 ・サイズも子供のノートと同じサイズの方がまとまりがあってよい。また岐阜県を題材に扱っている内容もあり、ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進にもつながる。

<p>理科 大日本図書 「たのしい理科」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の理科部では、「自ら科学的に探究する力」に焦点を当て、実践を重ねてきている。「自ら探究する」ためには、“なぜだろう”“調べてみたい”という好奇心が湧くような題材を用いる必要がある。児童において身近に感じられるように理科と日常生活が直結している題材を扱うことが重要である。 ・大日本図書の教科書は、単元導入時の写真が日常生活により身近なものが多い。また、単元終末時を中心に、日常生活と社会の関連についての記載が多数あり、理科のみならず、本校の「どう生きるか」の学習に生かすことのできる部分が多い。教科の枠を超えて、現代社会の課題との関わり方や貢献の仕方を選択したり、判断したりすることができるようにするきっかけをつくることもできると考える。
<p>生活 東京書籍 「新編 あたらしい せいかつ上」 「新編 新しい生活 下」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究的な学びのサイクルが位置付けられた単元構成になっており、「どう生きるか」の学びのサイクルとも合致する。 ・ICTを活用する際の方途は他の教科書でも触れられていたが、留意点については、本教科書ほど具体的に多く示されていた教科書はなかった。多様な学びとしてICT活用を推進していく上で、教えていかななくてはならない内容といえる。 ・社会科や理科との関連を図った学習活動例の取り扱い数が多く、3年生の学習への円滑な接続が見込める。 ・附属小中学校の児童が、「どう生きるか」の活動の中で見せる、関わる対象（カテゴリー）に対しての旺盛な好奇心や、やってみたいという強い思いや願いをもって活動に向かう姿を踏まえたときに、探究的に学ぶサイクルが位置付き、ICT活用の方途や留意点が明示され、3年生以降の学びにもつながるといふ特色をもつ東京書籍の教科書は適切であり、「どう生きるか」から生活科の学習に教育課程が変わったときにも、「どう生きるか」の知見を生かすことのできる教科書であると考えられる。
<p>音楽 教育芸術社 「小学生の音楽」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「学習マップ」では、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞ごとに分類されていて、学習する内容について見通しをもつことができる。 ・音楽を形づくっている要素について、段階的・系統的に指導できるような題材構成になっている。 ・各教材曲に学習活動を展開する手立てが示された紙面構成と豊富な活動例は、学び方の習得や児童の主体的な学習活動に繋がるとともに、教師は題材のねらいに迫る指導ができる。よって、自ら学びを進めていこう

	<p>とする本校の児童に適している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を使った活動例のうち、仲間と関わる活動が充実している。 ・発言の例として示された「吹き出し」は、ねらいの達成や言語活動の充実に繋がる。 ・ワークシートが充実していて、書き込みがしやすい。 ・「どう生きるか」で身に付ける資質・能力のうち、「関係構築力」「貢献する人間性」に関わる内容が充実している。
<p>図画工作 日本文教出版 「図画工作」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時の写真，児童作品，児童の活動中のつぶやきが多く掲載されており，学ぶことへの意欲を引き出し，発想や構想を広げる紙面構成となっており，図画工作の学習に意欲的に取り組める本校児童に適していると考ええる。 ・本校の児童は，生活の中でいろいろなものや素材に触れたり，加工したり，体全体を使い五感を働かせながら造形活動を楽しむ経験が乏しいように感じる。一題材の中で，基底材の形，材料，大きさなどがさまざまな作品が掲載されており，児童の表現の幅を広げ，創造性を培うことができると思う。 ・各巻で，全国の造形活動，美術館の取組や地域の伝統工芸，美術作品を扱っており，5・6年下の巻末資料「材料と用具のひきだし」～和紙ってすごい！～では，岐阜市の水うちわが掲載されている。ふるさとへの誇りと愛着を育むふるさと教育の推進にもつながる。
<p>体育 東京書籍 「新編 新しいほけん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の実態として，健康安全にかかわる知識を習得しても，実生活になかなか結び付かないためにケガが多いことが挙げられる。広範囲から公共交通機関を利用して登下校をする児童も多いため，日頃から健康安全について考えることができると良い。 ・東京書籍の教科書は，学んだことを実生活へ結びつけるために，「気付く・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップのサイクルで学習問題を見付け学習を毎回進めていくことで問題解決力につながることで，自分ごとにつながるQRコードが多くあること，発問に対する気付きや考えの記述欄を広くしてあること。また，本校の児童は，それぞれの地域で児童が生活しているため，さまざまな市の地域の保健活動が写真を使って具体的に取り上げてあることが本校の実態に合っている。

<p>家庭 東京書籍 「新しい家庭5・6」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生になるまで家庭で包丁を持ったことがない児童が、本校では半数を超える。実物大の野菜の資料が多く掲載されていたり、成功例と失敗例の双方の掲載があり自分の作品と比較することができたりすることは、実習がほぼ初心者の児童にとって理解を深める手立てとなる。 ・「考える調理実習」では、調理のポイントを児童が考え見つけ出す構成になっている。食品にはどんな変化が起こり、よい点が増し、おいしさが得られるのか、なぜそうするのかと、科学的根拠を追究することができる。 ・他教科及び中学校技術・家庭との関連する内容には、系統性を示す記載があり、後期課程への期待を促すことができる。
<p>外国語（英語） 東京書籍 「NEW HORIZON Elementary English Course」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の慣れ親しみから、「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」を働かせる活動へと段階を踏んだ構成で、児童にとって学習内容が定着しやすい工夫がなされている。 ・5年生の冒頭だけでなく、2学年通じて中学年で慣れ親しんだ学習内容に繰り返し触れられる構成になっている。また、文字や音への慣れ親しみを経て、最後に文を読むことに挑戦する構成で、読み書き指導でも後期課程への効果的な接続が意識されている。 ・グループで助け合いながら行うさまざまな発表活動などが設定されており、協働的な学習ができるようになってきていることによって、本校の研究に関わって、「関係構築力」や「貢献する人間性」を育むことに有効だと考える。 ・本校の英語科が実践している「ラウンド学習」において、単元末の活動が、児童が話したいことや構成を自由に選択し、本当に伝えたいことを伝えられる活動になっている。
<p>特別の教科 道徳 光文書院 「小学校道徳 ゆたかな心」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の最初に「道徳の時間」について自分の考えの整理の仕方や他者との学び方が丁寧に記されているなど、ガイダンスのページが充実している。 ・各資料に、展開場面で2発問、終末場面で1発問、発展として1発問の4つの発問例があり（各教科書の中では最多）、児童自ら考えることのできる足がかりとなりやすい。 ・学習内容を発展させたコラムがあり、各資料の導入や終末に提示するなどの工夫がしやすい。 ・1年生の最初の資料は、文字が少なく挿絵から考えることができるようなページが多くなっているため、資料への抵抗が少ない。

	<ul style="list-style-type: none">・岐阜県の素材を扱っている学年は光文書院が一番多く（4つの学年で使用）、ふるさとへの愛着・郷土愛を育む等、ふるさと教育の推進にも関連している。・「いじめ防止」「生命尊重」を重点主題にしていることに加え、各学年の重点主題を1・2年「へこんでも立ちなおる力」3・4年「みんなで力を合わせて」5・6年「世界中のいろいろな人とつながるために」としており、本校の身に付けさせたい資質・能力に近い主題で資料を作成している。
--	--